

自分の考えを整理・深化させる活動の工夫



「情報活用能力」を意識した単元づくり

中学校の総合的な学習の時間では、生徒が調べ学習をして、新聞等にまとめる活動を行うことがよくあります。そのときに、次のような生徒はいませんか？

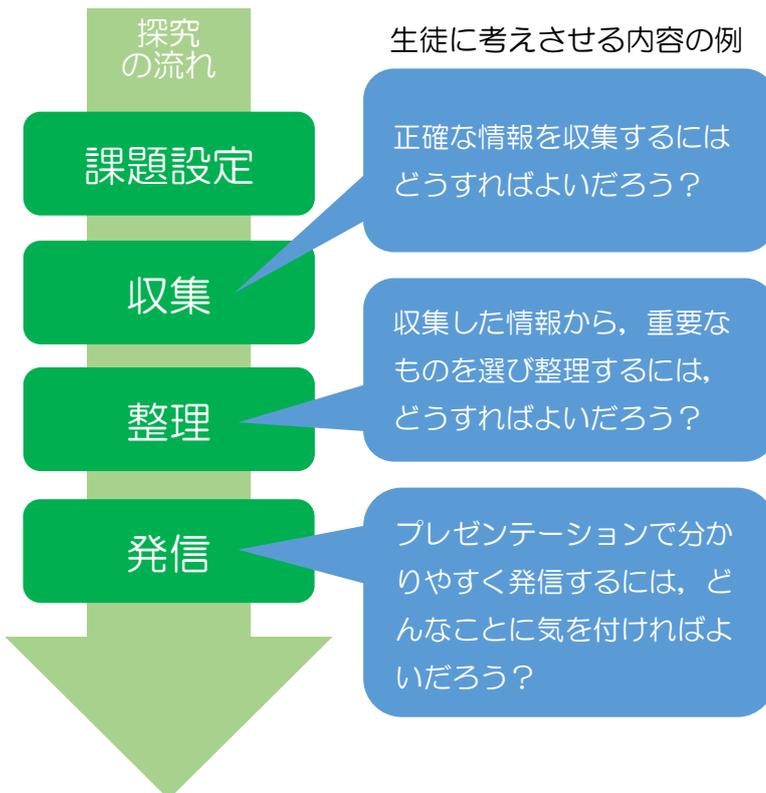
- インターネットや資料の情報を丸写しして、収集したつもりになる。
- 収集した情報をすべて正しいと思い込んで信頼してしまう。
- 収集した情報を整理しないで集めっぱなし。
- 新聞にまとめるとき、収集した情報を書き写すだけで、自分の考えが入っていない。

情報活用能力とは？

「情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力」  
〔中学校学習指導要領解説総則編〕

例えば・・・  
情報を得る、整理・比較、発信・伝達できる力  
（情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル等も含む）

総合的な学習の時間における探究活動で、情報活用能力を育成し、生徒が情報を活用して自分の考えを形成できることを目指す授業実践を行いました。探究活動では、下図のように適切な情報活用の方法について考える場を設け、生徒が情報活用能力を意識できるようにしました。



**ポイント！**

生徒が考えたアイディアは、「情報活用ガイド」として目に見える形にして残し、生徒同士で共有しました。

収集	整理	発信
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大げんこくするのにははやく、複数の単語で調べる。</li> <li>・複数のサイトを見比べて同じ情報が書いてあるか確認できる。</li> <li>・国や県のページで調べる。</li> <li>・会社のページで調べる。</li> <li>・近年の情報を調べる。</li> <li>・疑問に思ったら積極的に質問する。</li> <li>・自分の考えを明確にする。</li> <li>・話の経緯や、文脈をたどる。</li> <li>・再度質問をして、正しい情報を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連するキーワードを思いついてまとめる。</li> <li>・情報と同一内容か書いてあるかを確認する。</li> <li>・目的に沿った情報で書かれているかを確認する。</li> <li>・色々の情報を比較する。</li> <li>・理由がしっかりしている情報。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しや資料は授業の目的や目的、目的に合わせる。</li> <li>・著者や情報に反応していないかを確認する。</li> <li>・色々を使って分かりやすくする。</li> <li>・テロップも使うと分かりやすい。</li> <li>・写真や動画を添える。</li> </ul>

また、残すだけでなく、それを基に自分の取組を評価させたり、一度作ったものをアップデートさせたりすることも重要です。

主体的・対話的で深い学びからの授業改善のポイント

適切な情報活用の方法について生徒自身で考える場を設けることで、生徒たちは収集した情報に対して「信頼できるか」「重要なものか」「伝えるべきものか」などと考え、収集した情報を丸写しせず、情報を活用して自分の考えを形成することにつながります。また、「情報活用ガイド」等で考えたアイディアを生徒同士で共有することで、適切な情報活用の方法を生徒に定着させることができます。